

牛に関わる全ての皆さまへ

車両や人による農場から農場への伝播防止をして
ランピースキン病の感染拡大防止を！

<ランピースキン病 現在、九州2県で21事例を確認 >

ランピースキン病ウイルスによる**牛の伝染病**。主にサシバエ等による機械的な伝播により感染が拡大しますが、車両や人もウイルスを運ぶ可能性があります！

<症状>

全身の皮膚の結節や水腫、泌乳量の減少、発熱等の症状を呈し、**生産性に影響**を及ぼす病気です。



写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所

車両がウイルスを運ばないために

- ・農場に出入りする全ての車両は洗浄・消毒、殺虫を徹底
- ・車内に入り込んだサシバエ等も確実に殺虫

特に寒い時期、サシバエ等は**暖かい車両に集まり**やすい

資材(牧草ロールや敷料など)にもサシバエ等が入り込む可能性がある
あるので搬入時に確認！ **県内農場に侵入する可能性も！**



特に、農場を中心に生活するサシバエへの対策が重要。福岡県の発生農場では、サシバエの少ない農場内では感染拡大が抑えられていました。なお、特に冬前のハエ1匹は来シーズンの1万匹に相当すると言われるほど対策が重要です。



写真提供：住化エンバイロメンタルサイエンス(株)

人がウイルスを運ばないために

- ・農場ごとに専用の衣服、長靴(ブーツカバー)交換を徹底
- ・注射針、人工授精用器具等は確実に一頭ごと交換 又は消毒
- ・聴診器等、皮膚に接触する器具も適切に消毒を

農場から農場への感染拡大防止！

